

大橋川周辺まちづくり検討委員会

設 立 趣 旨

大橋川は、城下町松江の市街地の中央を流れ、宍道湖と中海を結ぶ、一級河川斐伊川の一部で国土交通省の直轄河川です。

松江市はこれまで幾度となく水害に見舞われ、大きな被害を受けてきました。昭和47年の大水害の教訓を生かし、水害に強い、安全で安心なまちづくりを進める必要があります。

松江市は、大橋川、宍道湖、中海により醸し出される豊かな水辺空間を有し、美しい景観や伝統的な歴史文化を備える国際文化観光都市です。

大橋川の改修については、平成16年12月に計画の骨格となる「大橋川改修の具体的内容」が公表されたところであり、今後、治水、環境、景観、水辺の利活用、周辺のまちづくりなど様々な視点から大橋川の改修を検討する必要があります。この大橋川の改修を契機にまちづくりを行うことは、松江の魅力を高める絶好の機会であると考えています。

このため、学識経験者や関係団体の代表者から構成される「大橋川周辺まちづくり検討委員会」を設立し、大橋川周辺のまちづくりや景観や水辺の利活用等について検討していただき、提言を「まちづくりと一体となった大橋川改修の具体的計画内容」に反映させていきます。